

成田山だより 智光



成人の晴れ着姿で初詣

成田山初詣

特報

新春特別大祈祷会を厳修

〈六〜九ページに関連記事〉



岸田照泰貫首大導師のもと、皆さまの心願成就を祈願



ぼんてんばら
災難消除の梵天祓いを受けて、新年の祈りを捧げる参詣者

涅槃会のところ

二月になり立春の声を聞くころになると、厳しい寒さの中にも徐々に日差しに力強さを感じられてくる。

この月の初めには年中行事の中でも代表的な節分会があるが、中旬には仏教徒にとって忘れてはならない重要な行事、涅槃会がある。

大恩教主釈迦牟尼世尊(釈尊)が八十歳の生涯を終えて入滅されたのが、二月十五日とされているからである。

その釈尊最後の事蹟を記したのが『涅槃経』であり、それによれば現在のビハール州中央部ラージギル(王舎城)にある霊鷲山を出発し遊行されたところから始まるが、目指していた場所が何処であったのかは記され

ず、故郷のカピラヴァストウであらうとする人が多い。

途中パーヴァー村の金属細工人チユンダの供養した、きのこ料理の食事後に病を生じ、クシナーラーのウパヴァッタナにある沙羅林の、二本のサーラ樹の間で涅槃に入られたのである。

日本での釈尊の入涅槃を悼む法会は、奈良時代の天平宝字五年(七六一)に東大寺二月堂で行われたが、小規模の供養会は仏教伝来当初から既に、仏教を信奉する人たちによって行われていたと推察され、推古天皇の時に元興寺で行われていたといわれる。

灌仏会(花まつり)や成道会と共に三大法会とされるこの法会は、涅槃の四徳といわれる

常・楽・我・淨の最初の二文字をとって常楽会の名称もある。

その法会は涅槃図を懸けて奉修され、『涅槃経』の講讃や『仏遺教経』を誦し、釈尊への思慕の念が特に深かった鎌倉時代の高僧、明恵上人撰述の四座講式を修している。

参詣のご信徒は炒豆、あられ煎餅を持参して仏前にお供えし、ただいて帰り家族皆で食べれば災難をまぬがれるとされる。

釈尊がこの涅槃に入られる前に、その場に集会していた弟子たちに説かれた最後の説法はどのようなであったのか。渡辺照宏博士のパーリ文からの翻訳をあげれば、「ではビクたちよ。汝たちに告げる。もろもろの現象は移ろいゆく。怠らず、努めるがよい」が如来の最後の言葉であった。これは不動明王の奴僕三昧に通じる教えである。

不動尊信仰者は、釈尊最後の教誡を尊び、常に「ひたすら精進努力」せねばならない。

成田山だより『智光』2022年2月号

- | | |
|--|---|
| <p>2 新春特別大祈禱会を厳修</p> <p>4 密教經典入門 第26回</p> <p>6 成田山初詣特報</p> <p>10 月間ニュース 新春航空安全祈願祭/大般若会/歳末たすけあい募金鉢/京都十二薬師巡拝の旅/納め不動古札お焚き上げ法要</p> <p>12 今を生き抜く祈りの力</p> <p>14 ご信徒の広場 浅賀信夫さん(東京都)</p> | <p>16 インフォメーション 御護摩祈禱/成田山節分会/御尊像納仏/出世開運稲荷祭礼提灯献灯/御宝前特別祈願/御宝前結婚式/成田の梅まつり/晋山慶祝稚児募集ほか</p> <p>22 『不動経』のんびり写経 第2回</p> <p>25 季語散策/智光俳壇</p> <p>26 御護摩札郵送のご案内</p> <p>27 2月の行事カレンダー/3月の主な行事</p> |
|--|---|

密教經典入門

第二十六回

成田山仏教研究所首席研究所員

松本照敬

成田山では真言密教の教えのもと、現世利益を祈願しています。

その根底をなす『大日経』『金剛頂経』『理趣経』と弘法大師空海の諸論書を解説し、難解とされる密教の真髓をご信徒皆さまにわかりやすくご紹介します。

【即身成仏義】

二、即身成仏義

概要

空海は、顕教と密教とを対比して、顕教の教えによると仏となるために無限の長時間が必要である（三劫成仏）が密教の教えに従うならばこの身のままで直ちに仏になる。すなわち即身成仏が可能である、と主張した。それでは、即身成仏が何故、どのようにして可能なのであるうか。この点を明らかにしようとしたのがこの『即身成仏義』（略称、『即身義』）である。

本書は、初めに即身成仏説を裏づける経論の文を引用している。この引用文は、『二経一論八箇の証文』とよばれている。

次に詩がかかげられる。この詩は二頌八句より成り、この句を順次解釈する形で即身成仏の内容が説明される。この詩をのちに読むことにしよう。

『即身義』は、宇宙を法身大日如来のあらわれと見、本体と様相とはたらきの三方面から把握している。宇宙は六つの根源的なもの（六大）を本体としてしていると説かれる。そしてそれは四方面から仏の姿として象徴的に把握される。

宇宙のはたらきは、大日如来の身体、言語、意のはたらきとして説明され、その三種のはたらきを合致させるならば、そのまま仏となりうるとして実践的に成仏の

可能性を説き明かす。『即身義』は、真言密教教学の根幹を形成する書物といえよう。

〔漢文書き下し文〕

頌にいわく。

六大^①無碍^②にして常に瑜伽^③なり。

四種曼荼^④のおの離れず。

三密加持すれば速疾に顕わる。

重々帝網なるを即身と名づく。

法然に薩般若^⑤を具足して

心数天王^⑥利塵^⑦に過ぎたり。

おのおの五智^⑧無際智^⑨を具す。

円鏡力のゆえに実覚智^⑩なり。

積していわく。この二頌八句をもって



高野山では即身成仏された弘法大師空海に毎日欠かさず食事が届けられている

即身成仏の四字を歎ず。すなわちこの四句に無辺の義を含ぜり。一切の仏法はこの一句を出でず。故に略して両頌を樹てて無辺の徳を顕わす。

頌の文を二に分かつ。初めの一頌は即身の二字を歎じ、次の一頌は成仏の両字を歎ず。

初めのなかにまた四あり。初めの一句は体、二には相、三には用の四には無碍なり。

後の頌のなかに四あり。初めには法仏の成仏を挙げ、次には無数を表し、三には輪円を顕わし、後には所由を出だす。

〔注〕

(1) 六大 地大・水大・火大・風大・空大・識大という六つの根源的なもの。

(2) 無碍 さまたげのないこと。

(3) 瑜伽 ヨーガの音写。結びについていること。

(4) 曼荼羅 曼荼羅の略。四種の曼荼羅は、大曼荼羅、三昧耶曼

荼羅、法曼荼羅、羯磨曼荼羅。順に宇宙の全体相、特殊相、文字言語、活動を意味し、これを象徴するものとして、諸尊の形像を描いたもの、諸尊の持物を描いたもの、諸尊の種子(梵字)を書いたもの。諸尊の動作をいう。

(5) 帝網 帝釈天の宮殿に張りめぐらされている網。一々の目に宝珠がつけられていて、一々の宝珠が他の宝珠を映し出しているという。無限に重なり合うことのとえとして用いられる。

(6) 薩般若 サルヴァジニヤーナの俗語の音写。一切智と漢訳される。すべてを知る智。

(7) 心数： 心数は心のはたらき、心王は心の主体。

(8) 刹塵 刹はクシエートラ(国土)の音写。国土をくだいて塵にしたもの。数の多いことにたとえる。

(9) 五智 大日如来の智を開いて五としたもの。法界体性智・大円鏡智・平等性智・妙觀察智・成所作智。

(10) 無際智 限らない仏の広大な智慧。
(11) 実覚智 あるがままにさとる智慧。

〈次号へつづく〉

新年の平安と幸福を お不動さまに祈る



御護摩祈禱で心願成就を祈る

令和四年壬寅歳の新春にあたり、成田山では引き続き、新型コロナウイルスの感染防止対策を講じてご信徒皆さまをお迎え。各地から多くの方が初詣し、平穏な一年となるよう御本尊不動明王に祈念しました。

新春の大護摩供で 年頭の祈りを捧げる

元日の零時、岸田照泰貫首大導師のもと元朝大護摩供を厳修。国土安穩、万民豊楽、仏法興隆、信徒安全を祈願し、新たな一年が平安で幸福な年となるよう、お不動さまへ祈りを捧げました。大本堂では、連日、早朝から夕刻まで



初詣の参詣者でにぎわう大本堂前

毎時間、御護摩祈禱を厳修し、皆さまの願い事の成就を祈念。特に十一時の新春特別大祈禱会では、災難消除の梵天祓いを行いました。御護摩には、読売巨人軍の長嶋茂雄名誉監督、プロゴルファーの青木功選手、プロ野球千葉ロッテマリーンズの唐川侑己選手や北海道日本ハム

ご挨拶

ご信徒皆さまには、お寒さの中を成田山に初詣いただき、深く感謝申し上げます。御本尊不動明王の御宝前で一年の平安と幸福を祈願されたことと存じます。

本年も、新型コロナウイルス感染症対策に取り組み、安心・安全におまいりいただけるよう充分に留意い



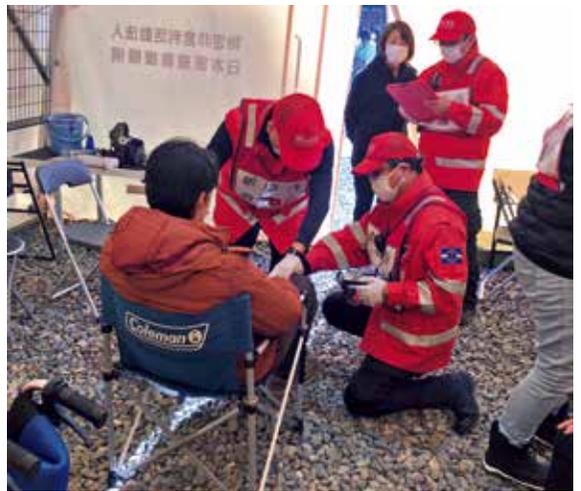
表玄関の総門前で手指消毒

たしましたが、皆さまにはご不便やご迷惑をおかけした点多々ありました。何卒ご海容のほどお願い申し上げます。

この一年も御本尊不動明王の御加護のもと、実り多き年となりますようお祈りいたします。

令和四年二月一日

大本山成田山新勝寺



日本医療救済機構による救護の奉仕活動

ファイターズの田宮裕涼選手、プロサッカー高知ユナイテッドSCの長谷川凌選手、歌謡歌手の新浜レオンさんなど著名人も参列され、お不動さまに心願成就を祈りました。

大本堂東側では、元日から二十八日まで不動明王御印紋を授与。お不動さまを表す梵字が刻まれた印を額に当てるもので、七日には七草御印紋として授与し、無病息災と身体健全を祈りました。

本年も引き続き、新型コロナウイルス感染防止のため、参詣の皆さまには入堂時の手指消毒とマスク着用にご協力いただきました。さらに三が日には、医師で成田山信徒でもあるNPO法人日本医療救済機構の鎌田裕十朗理事長が参詣者救護のご奉仕。医師や看護師延べ十三人が救護所として設置したテントで体調不良やけがをした方の救護にあたってくださいました。鎌田理事長は「お不動さまへ、成田山からいただいた活動支援金の御蔭で新調できたテントのお披露目とご報告ができました。コロナ禍において、少しでも安心しておまいりするための一助となれば幸いです」と話されました。

皆さまの心願成就を 境内各所で祈願

釈迦堂では、開運厄除御祓を奉修。厄年の方や開運を願う方、心機一転をはかりたい方などが一年を無事に過ごせるようお願い、お祓いを受けました。

醫王殿では、願主が薬師如来御宝前で手を合わせ、梵天祓いを受けて健康長寿と病気平癒を祈願しました。



醫王殿で健康長寿と病気平癒を祈願

平和大塔では、二十八日まで毎日、特別祈禱を奉修し、入堂のご信徒とともに一年の平安を祈りました。

光明堂では、除災招福を祈願した星供御守を授与。堂内に奉安する愛染明王を参拝して縁結びを祈願したり、恋愛成就の絵馬に願いを込める姿が見受けられました。

交通安全祈禱殿前には連日、自動車やバイクの列が続き、車両と運転者、同乗者を梵天祓い。法楽を捧げて無事故安全



交通安全祈禱殿では車両もお祝い

を祈願しました。

商売繁昌の御利益がある出世稲荷では、参詣者が絵馬に名刺を貼って掛けるなどして、仕事運上昇を祈りました。

そのほか境内各所の御守受場では、正月限定の初詣開運御守や守護矢、新春祈禱御札をはじめ、江戸時代から親しまれている身代御守などを授与。新年の運勢を占うおみくじを求める方が列を作るなど、昨年よりもにぎわいの戻った境内となりました。



仕事運上昇を願って出世稲荷におまいり

初詣の著名人

新年の抱負

読売巨人軍

長嶋茂雄名誉監督



昨年は文化勲章をいただく大変光栄な出来事がありました。また、東京オリンピックの聖火ランナーという大役も果たすことができ、うれしく思っています。残りの人生は野球界、スポーツ界のために捧げてまいります。

千葉ロッテマリーンズ

唐川侑己選手



昨年は、けがでチームの力になれない時期があり、悔しさの残るシーズンでした。優勝して日本一になるため、一年を通して戦い続けられる身体をしつかり作って、チームの勝利に貢献できるよう今年も頑張ります。

高知ユナイテッドSC

長谷川凌選手



今年は勝負の年だと思っています。誰よりも練習して技術もメンタルも強化し、新しいクラブで活躍することをお不動さまに誓いました。支えてくださる方々に応援していてよかったと思っております。今年も頑張ります。

プロゴルファー

青木功選手



今私があるのは両親や応援してくださっているファンなど多くの方々のおかげと、「感謝」の二文字をスローガンに掲げました。今年で八十歳になります。節目の年を迎え、ゼロからスタートするつもりで頑張ります。

北海道日本ハムファイターズ

田宮裕涼選手



昨年は結果を出せず、力不足を痛感しました。コロナ禍でファンの方と接する機会は少なかったのですが、その分しっかりとトレーニングをして身体は強くなってきました。今年こそ一軍定着を目指して頑張ります。

歌謡歌手

新浜レオンさん



昨年は、コロナ禍でファンの方と直接お目にかかる機会が少なく、皆さまの声援がどれほど自分の力になっていたかを改めて実感しました。今年、目標の紅白歌合戦出場に向けて、突っ走レオンで頑張ります。

新春航空安全祈願祭

安全な空の旅を願って

一月一日 成田国際空港

成田市観光協会（諸岡良和会長）の主催により、毎年元日に成田国際空港で新春航空安全祈願祭を開催しています。

本年は第一ターミナル四階南ウイング国際線出発ロビーに道場を設け、田中照広教化部長導師のもと奉修。梵天祓いを行い、旅行者と各航空会社の無事故安全、そして成田国際空港のさら

なる発展を祈願しました。

法楽後、国土交通省東京航空局の鈴木英治成田国際空港長へ御護摩札を授与。参列した小泉一成成田市長は「空港会社をはじめ、関係皆さまには感染防止の水際対策に尽力いただき感謝いたします。必ずや成田空港はかつての活気を取り戻すと確信しています」と挨拶されました。



参列者に災難消除の梵天祓い



航空安全の御護摩札を授与

大般若会

無病息災を祈る方々が参拝

一月八日 光明堂

天下泰平、万民豊楽、五穀豊穰、息災延命を祈願する大般若会を伊藤照節寺務長導師のもと奉修しました。

大般若会は、大般若経六百卷のともいわれ、大般若経六百卷の経題を読み上げ、経典一卷一卷を転読する法会です。転読の風にあたり、無病息災の御利益をいただけるかと伝わり、多くの

方が参拝されました。

例年、大般若会は清瀧権現堂で奉修していますが、現在、弘法大師ご誕生一二五〇年記念事業として修復中（二十六ページ参照）のため、光明堂において奉修しました。

工事は、二〇二三年（令和五年）三月の完成を目指して進められています。



経典を左から右へ繰って転読



素屋根が掛けられ修復工事が進む清瀧権現堂

歳末たすけあい募金托鉢

網代笠姿の僧侶が市内を行脚

十二月四日

成田市仏教会（伊藤照節理事長）の主催により、歳末たすけあい募金托鉢を実施しました。境内や表参道を中心に僧侶が市内を行脚して募金托鉢を行い、参詣のご信徒などから十九万一千二百八十六円の浄志をお寄せいただきました。

寄せられた浄志は成田市社会福祉協議会へ寄託します。ご協力いただきました皆さまに心より感謝申し上げます。



境内や表参道を行脚して托鉢

納め不動古札お焚き上げ法要

一年間の御加護に感謝

十二月二十八日 大本堂西側広場

一年最後のお不動さまの御縁日である「納め不動」の日にあたり、御護摩札をお焚き上げする古札お焚き上げ法要を奉修しました。

道場には、これまでに受けた御札や御守を納める人びとが早朝から次々に参詣。また、納め札とともにお焚き上げる護摩木や壇木に願い事や感謝の気持

京都十二薬師巡拝の旅

新型コロナウイルスス終息を祈る

十月十二日～十四日・十九～二十一日

昨年十月、新型コロナウイルスス終息を祈願して京都十二薬師巡拝の旅が行われました。

感染防止対策に万全を期すため少人数で二班に分けて実施。一班は成田山関係者、二班はご信徒を中心に、いずれも成田山の僧侶が同行して二泊三日で催行されました。

札所では参加者全員で法楽を捧げ、感染症の一日も早い終息を祈願しました。



第一番札所平等寺で法楽を捧げる参加者

ちを込めて浄書する姿も多く見受けられました。

山伏姿の僧侶たちが道場へ入場し、中央に設けられた炉壇に大きな炎が燃え上がると、納められた御札や護摩木、壇木を次々にお焚き上げ。参詣したご信徒は、手を合わせて一年の御加護に感謝するとともに新年の平安を祈願しました。



感謝を込めて御護摩札をお焚き上げ

今を生き抜く 祈りの力

近年、多発する自然災害や蔓延する感染症などにより、多くの人がびとが困難に直面しています。苦難に満ちた今を生き抜くため、至心に祈りを捧げて御本尊不動明王の御加護をいただき、幸福で平安な毎日を送りましょう。

人の幸せ

不動明王 御真言

のーまく
さんまんだー
ばーざらだん
せんだー
まーから
しゃーだー
そわたや
うんたらたー
かんまん

仏教を開かれたお釈迦さまは、今から約二千年前の陰暦二月十五日に入滅されました。お釈迦さま最後の説法が記された『仏遺教経』に「世は實に危脆なり、牢強なる者無し」という一節があります。この世は儂く脆いものであり、永遠なるものは存在しないという意味です。人の命も同じです。故に誰しも「長生きしたい」「命ある限り幸せでありたい」と願って生きているのです。

お不動さまは、いかなるときもお護りくださっています。御真言をお唱えして御加護を感じ、心の平安を得ましょう。



携帯電話やスマートフォンで上記のコードを読み取ると御真言の音声流れます

私たちの誓い

人のためにつくす

「私たちの誓い」は、私たち不動尊信仰者が、お不動さまの御教えをいただき御本誓の体得につとめ、幸せな生活を送り、さらには心豊かな社会づくりに寄与するための実践行です。

お不動さまは、私たち一人ひとりに仕えるように、何があっても救い導いてくださる「奴僕行」に徹しておられます。第一の誓いは、こうしてお不動さまの御心を体して、奉仕活動に励みましようというものです。

私たちの誓い 〈不動尊信仰者の心構え〉

私たちは御本尊不動明王の広大無辺の慈悲に感謝し、御本誓の体得につとめることを誓います。

- 一、御本尊さまの奴僕に行にしたがい、すべての人びとに奉仕いたします。
- 一、御本尊さまの絹索のおさとしにより、つくし合いの生活をおくります。
- 一、御本尊さまの磐石の決意をもって、あらゆる苦難に耐えしのびます。
- 一、御本尊さまの燃えさかる火災のように、ひたすら精進努力いたします。
- 一、御本尊さまのゆるぎなき御心を体し、精神の統一につとめます。
- 一、御本尊さまの利剣の智慧をもって正しく判断し、真実の自己にめざめます。
- 一、御本尊さまの加持力をいただき、平等の利益にあずかることを祈念いたします。

昨年秋、小笠原諸島の海底火山の噴火によって吹き出した大量の軽石が漂着し、漁業や観光業に大きな被害を受けた沖縄県では、地域住民や全国から集まったボランティアによって地道な除去作業が今なお行われています。また、全国各地の自治体やNPO法人から除去に必要なスコップや箒、土のう袋といった物資が届くなど、復興に向けて支援の手が差し伸べられています。

真言宗をお開きになった弘法大師は、『秘藏法鑰』に「菩薩の用心はみな慈悲をもって本とし、利他をもつて先とす。よくこの心に住し浅執を破して深教に入らしむれば利益もつとも広し」と説かれました。

人びとを苦しみの世界から救おうとするお不動さまのように、慈悲心をもって人びとの幸せのために行動することが大切であり、自分の浅はかな考えに囚われず、他者のためにつくすならば、自分も必ず幸せになれるということです。

私たちも不動尊信仰者として自己の完成を目指し、他者の幸せを喜びとして、率先して奉仕に励みましよう。

家族が救われたご霊験に 益々深まる不動尊信仰

浅賀信夫さん

〈東京都杉並区〉



浅賀信夫さん

浅賀信夫さんは、一九五二年（昭和二十七年）東京都杉並区のお生まれ。成田山日参講初代講元の父・新太郎さんのもと幼い頃から信心を育まれ、現在は二代目講元として不動尊信仰をさらに深めていらつしやいます。

浅賀さんは大工としてお父さまのもとで修行され、兄・敏夫さん設立の浅賀工務店を支えてこられました。

信仰と家業を受け継いでおられる浅賀さんにお話を伺いました。

講社ではどのような活動を。

浅賀 毎年、一月の第二日曜日に初詣をするのが定例で、講員に限らず弊社のお

客さまにもお声掛けしています。成田山で御護摩おごまに参列した後、近隣の寺院をおまいりしたりイチゴ狩りなどをして楽しんでいのですが、コロナ禍の影響で昨年と今年はできませんでした。また早く皆でおまいりできるよう祈るばかりです。

月まいりを始められたと伺いました。

浅賀 五月、九月に行っていた役員だけの参拜もできないので、コロナ禍の終息を願って始めました。父は生前、少しでも時間ができると成田山へ行っていたので、その影響もありますね。「おまいりするとすぐに仕事が入る。お不動さまの御利益ごりやくだ」とよく話していました。

ご兄弟で家業を受け継がれて。

浅賀 お客さまの希望をかなえながら安全な家を建てることは大変ですが、これまで培われてきた伝統的な技術を大切に、損得抜きで良い家を建てようと兄と夢中になって仕事をしてきました。御蔭おかげさまでクレームや建てた家が地震などで壊れたということはありません。

現在は私の息子が跡を継ぎ、会社名を有限会社浅賀硝子工業に変更して、ビル的大型ガラス設置を請け負っています。私たちの仕事は常に危険を伴いますが、お不動さまにお護りいただけただけことで無事に仕事を続けてこられました。御利益

はこれだけでなく、孫の命を救っていた
だいたこともあります。

どのような出来事だったのですか。

浅賀 八年ほど前のことです。孫が三歳
のとき、四階の窓から落ちてしまったの



左から浅賀さんのご子息・羽客さん、お不動さまに命を救われた孫・美羽さん、羽客さんの名付け親の兄・敏夫さん

です。駆けつけると現場には警察による
規制線が張られ、人の形に囲われたチヨ
ークの跡が残っていました。それを見た
瞬間、もうだめだと思いました。ただ、
出血の跡はなく、一縷の望みを抱いて孫
が救急車で運ばれた病院へ急ぐと精密検
査中とのことでした。待つ時間はとても
長く感じられました。検査の結果は、な
んと内臓の損傷も骨の異常も何ひとつな
かったのです。その日のうちに会話まで
できたときは本当に驚きました。

名前につわる 不思議な御加護

ご無事で何よりでした。

浅賀 目撃した方から「直下せずに、ふ
わふわと落ちてきたんだよ」という話を
聞きました。そのとき、すぐに息子の羽
客と孫の美羽の名前が思い浮かびました。
名前に入った「羽」の字の御利益だと。

息子はお不動さまが守り本尊の西歳生
まれです。名付け親は私の兄で、羽客と

は仙人など空を飛ぶことのできる人を意
味します。お不動さまに良い名前をお示
しくださいと願いながら辞書を見ていた
ら目にとまったそうです。美羽の名は、
そこから一字とって息子が付けました。
美羽が羽のようにふわふわ落ちてきて助
かったのは、「羽」の字に宿ったお不動
さまの御加護に違いありません。

日頃からの篤い信心の賜ですね。

浅賀 孫が何の後遺症もなく元気に過ご
せているのは、偏にお不動さまの御蔭で
す。本人は事故のときのことを今でも鮮
明に覚えているようで、「神さまが出て
きて助けてくれた」と、神社仏閣におま
いりすると自然に手を合わせています。
これからお不動さまへ感謝の気持ち
を捧げながら、おまいりを続けていきま
す。そして、コロナ禍終息の折には皆そ
ろつての初詣を再開し、日参講を息子へ
とつないでいきたいと思っています。

ありがとうございました。

益々のご健勝をお祈り申し上げます。



おごま
 大本堂での御護摩祈禱

御護摩祈禱

皆さまのお願い事は御護摩で祈願いたします

成田山では毎日、御護摩祈禱によって皆さまの所願成就を祈念しています。

お申し込みの方には、お不動さまの御分身である御護摩札（下写真）を授与いたします。自宅や事業所などの清浄な場所を選んでおまつりし、御宝号「南無大日大聖不動明王」や不動明王御真言（12ページに掲載）をお唱えして、お願い事の成就をお祈りください。

2月の御護摩祈禱 時刻			
	土・日・祝日	1日～14日の平日・28日	15日～25日の平日
6時 (朝護摩)	○	○	○
9時	○	○	○
10時	○		
11時	○	○	○
12時	○	○	
13時	○	○	○
14時	○		
15時	○	○	○

御護摩祈禱時刻は変更する場合があります。おまいりされる前に電話で確認するか、公式ウェブサイトでの最新情報を確認されることをおすすめいたします。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、大本堂へご入堂の際にはマスクの着用をお願いいたします。

初穂料 5000円、1万円、2万円、3万円以上（特別大護摩）

御護摩札



小型札



木札

御護摩札の郵送を希望される方は26ページをご参照ください。

成田山節分会

特別追儺豆まき式、開運豆まきの年男を募集

2月3日(木) 大本堂

特別追儺豆まき式と開運豆まきの年男を募集しています。下記をご確認の上、ご参加ください。

なお、大本堂前特設舞台の設置、境内での福豆配布はありません。



特別追儺豆まき式 (昨年)

【特別追儺豆まき式】

時間 第1回 11時 / 第2回 13時30分 / 第3回 16時

参加料 8万円

服装 自由。袴かみしもを貸与

募集人数 第1・2回 各100人 / 第3回 50人

3回 50人

年男特別参加 大相撲力士ほか (予定)

申込み・詳細 特別追儺豆まき式係まで

【開運豆まき】

時間 第1回 9時30分 / 第2回 12時30分 / 第3回 15時

参加料 1万円

服装 自由。追儺羽織を貸与

募集人数 各回100人

申込み 光輪閣1階総受付

詳細 開運豆まき係まで

平和大塔 御尊像納仏

のおすすめ

敬虔な祈りを込めて謹刻された御本尊不動明王の御分身に、願主の芳名を浄書して平和大塔に奉安。毎日、願主の平安と繁栄を祈願いたします。

初穂料 10万円 (納仏之証を授与)

奉安所 平和大塔 経蔵殿

受付 光輪閣1階総受付、平和大塔



奉安した自身の尊像におまいりすることができる

出世開運稲荷祭礼

提灯献灯のおすすめ

光輪閣1階総受付、出世稲荷で受付中

出世稲荷は、吒^だ呷^き尼^に天^{てん}と江戸時代中期に佐倉藩主の稲葉正通公から寄進された稲荷明神をおまつりしています。

毎年2月、二の午の日とその前日の2日間にわたり祭礼を行っています。本年は21日・22日に奉修。期間中は「出世稲荷祭礼」の朱書が入った特別木札を授与。22日の11時からは出世開運稲荷大法会^{だほんえ}を厳修し、火難消除、開運招福、商売繁昌を祈願いたします。

祭礼にあたり、左記のとおり提灯^{ちようちん}の献灯を募集いたします。

意匠 紅白の丸長提灯に芳名、または社名を浄書（下写真）

献灯期間 2月1日～28日

献灯場所 出世稲荷参道

献灯料 1灯 5000円

受付 光輪閣1階総受付、出世稲荷
詳細 出世稲荷提灯献灯係まで



ちようちん
提灯が並ぶ出世稲荷前の参道

御宝前特別祈願

毎日の御護摩祈祷で、
お願い事の成就を祈願

御宝前特別祈願を申し込まれますと、
お願い事と芳名を護摩壇^{ごま}正面に掲げ、御護摩の火の一番近くで皆さまのお願い事を祈願いたします。

初穂料 3万円以上

期間 1カ月間



ごま
大本堂の護摩壇正面にお願い事、芳名を奉安

大本堂 御宝前結婚式

挙式紹介



御本尊さまに結婚の誓いを立て御加護を祈る

成田山では御本尊不動明王に結婚の誓いを立て御加護をいただく、大本堂での御宝前結婚式を受け付けています。
この度めでたく挙式された新郎新婦をご紹介します。

12月4日



小川祐樹様 落合千紘様

詳細 御宝前結婚式係まで
お二人の末永いお幸せとご両家のご繁栄を心よりお祈り申し上げます。

成田山公園

成田の梅まつり

2月19日(土)～3月6日(日)

成田山公園では、紅白の梅約500本が咲き、春の訪れを告げます。

成田市観光協会が主催する成田の梅まつりでは、期間中の土・日に演奏会などのイベントを開催予定。詳細はFEEL成田 (<http://www.nrtk.jp>) でご確認ください。

問合せ 成田市観光協会まで (電話：0476-22-2102)



春の訪れを告げる成田山公園の梅



「天童」になぞらえた稚児衣装

岸田照泰大僧正晋山式 晋山慶祝稚児を募集

4月23日(土) 表参道く大本堂

岸田照泰大僧正の貫首就任を慶祝する晋山式で、表参道を練り歩く稚児御練り行列の参加稚児を募集しています。

稚児は天童稚児ともいい、仏法の守護神や天人が童子の姿で人間界に現れた「天童」になぞらえています。古来、天童稚児を勤めた子どもは丈夫に育つといわれます。

このおめでたい機会に、ぜひ稚児御練り行列にご参加ください。

時間 9時45分～(雨天時は御練り行列を中止し、稚児加持と記念撮影のみ実施いたします)

募集人数 500人

参加料 1万円

服装 稚児衣装貸与

記念品 岸田大僧正ご揮毫色紙、稚児加持之証、御守、特別供物、記念写真

申込 光輪閣1階 総受付

受付期間 4月10日まで

詳細 成田山公式ウェブサイト、稚児係まで

釈迦堂

開運厄除御祓

のすすめ

成田山では、一年を通して開運厄除御祓を行っています。厄年にあたる方だけでなく、開運を願う方、心機一転をはかりたい方などが受けられています。

お祓いを受けて、心安らかに一年をお過ごしください。

時間 8時～15時30分
初穂料 7000円、1万2000円

令和4年 厄年表(数え歳)			
女性	平成17年生 18歳	平成16年生 19歳	平成15年生 20歳
	平成3年生 32歳	平成2年生 33歳	昭和64年生 平成元年生 34歳
	昭和38年生 60歳	昭和37年生 61歳	昭和36年生 62歳
厄年	前厄	本厄	後厄
男性	平成11年生 24歳	平成10年生 25歳	平成9年生 26歳
	昭和57年生 41歳	昭和56年生 42歳	昭和55年生 43歳
	昭和38年生 60歳	昭和37年生 61歳	昭和36年生 62歳
幼児	令和2年生 3歳	平成31年生 令和元年生 4歳	平成30年生 5歳
平成22年生の男女 13歳			

成田山書道美術館

「うるはしのかな 平安古筆から現代まで」

2月20日(日)まで

仮名は女手^{おんなて}、かりな、かななどと呼ばれる、中国から伝わった漢字を簡略化し、日本独自の文字として平安時代に完成しました。そこには日本人ならではの美意識が集約されています。

本展では、松崎コレクションと伊藤鳳雲コレクションの平安・鎌倉時代の古筆、桃山・江戸時代の書のほか、明治時代に御歌所で活躍した大口周魚や大字仮名が主流になった戦後の作品までを展示。書

風や線質、筆や紙などの用具、表装に至るまで工夫をこらした華やかな仮名の世界をお楽しみください。

開館時間 9時～16時(最終入館15時30分)

休館日 月曜日。祝日の場合は翌日休館

(22日～25日は展示替えのため休館)

入館料 大人500円／高・大学生300円／中学生以下無料(御護摩札^{おごま}または引換券、障害者手帳を持参の方は2人まで無料)、20人以上で団体割引(大人350円／高・大学生200円)

詳細 成田山書道美術館まで(電話:0476-24-0774)

次回展示

「収蔵優品展

小坂奇石と江口大象」

2月26日(土)～4月17日(日)

霊光館企画展

「深川不動尊」

平和大塔で2月20日(日)まで

成田山東京別院は、成田山の名を江戸に知らしめた出開帳をきっかけとして開創しました。「深川のお不動さま」「深川不動尊」として親しまれています。

江戸時代から始まる深川と成田不動の歴史をご紹介します。

場所 平和大塔1階 霊光殿

時間 9時～15時30分(期間中無休)

入場料 無料



三代広重画「東京名所図会 深川不動尊」(明治18年)

『不動經』のんびり写経

内容を少しずつ学んで、お経に親しみながら、のんびりと写経してみましよう。(全十二回)

佛説聖不動經

爾時大會有一明王是大明王
有大威力大悲德故現青黑形
大定德故座金剛石大智慧故
現大火焰執大智劍害貪瞋癡
持三昧索縛難伏者無相法身
虛空同體無其住處但住衆生
心想之中衆生意想各各不同
隨衆生意而作利益所求圓滿
爾時大會聞說是經皆大歡喜
信受奉行佛説聖不動經

『不動經』は成田山の御本尊である不動明王のことが説かれた經典で、長く詳しく説かれたお経と要点だけをかいつまんで説いた短いお経とがあります。

ここでは、成田山の御護摩祈禱でも誦している短い方のお経、『仏説聖不動經』の内容を見ていきます。そして、学んだ部分を写経してみてください。

少しでもいいですからお経の意味を知って親しみを持ち、写経を通して徳を積んでいきましょう。

第二回

爾時大會 有一明王
(そのとき大会にひとりの明王あり)

この部分は序分といい、一般的な序論、まえがきにあたる部分です。

お経にはしばしば「爾時」という語が出てきますが、ここでは大日如来が真理の教えを説いている、そのときを表しています。しかし、大日如来は永遠に真理

の教えを説いていて、その教えは、いついかなる場所でも変わりませんから、特定の時間ではなく、いつであつても良いのです。真理の教えに耳を傾けようという心が私たちに起こった、そのときに「爾時」ということになります。

「大会」は真理の教えを聞こうとする無数の聴衆が集まった会場のことです。

そこには聴衆のほか、多くの証明者(大日如来のお説きになる法門が正しく誤りのないことを証明する仏さまたち)も集会しています。無数の仏さまや菩薩たちが集会されますから「大会」というのです。そして、その中に「有一明王」、ひとりの明王がおいでになられたということです。その明王こそが、お不動さまなのです。

この序分の意味をまとめると、大日如来がこの不動経をお説きになるそのとき、説法の会場に不動明王が列座しておられた、となります。

爾時大會有一明王

納経の ご案内

左のキリトリ線でページを切り離し、薄く印字された文字をなぞって写経してみましよう。終わりましたら裏面を記入して成田山へ納経してください。御本尊不動明王御宝前に奉安いたします。

■ 納経先 〒二八六〇〇二三 成田市成田一 成田山新勝寺 智光編集室

Xキリトリ線



スマートフォンなどで上記コードを読み取ると『仏説聖不動経』（読み下し）読経動画にアクセスできます

お願い事

ご住所

お名前

Xキリトリ線

写経するのは筆でなくてもかまいません。サインペンや鉛筆などご自分の書きやすいものを使ってください。

季語 散策



山菜莢の花

(さんしゆゆのはな)

山菜莢の蕾のはなれぐなる

星野立子

山菜莢は、春先に黄色い花を咲かせるミズキ科の落葉木です。

金縷梅まんろうばいとともに春の訪れを知らせる花として古くから親しまれてきました。

智光俳壇

泉風 選

● 花石路のふと返り見る明るさよ

青森県 小川とらみ

● 顔にまで泥付け蓮根掘る夫婦

千葉県 阿部 啓

● 初霜や先ず妻が踏み我が踏む

千葉県 神郡 一成

中国原産で、日本には江戸時代中期に漢方薬として持ち込まれました。

漢名の「菜莢」とはグミの木の果実のことで、秋に似たような実をつけることからこの名が付きました。

日本には、黄金色に輝く花という意の春黄金花はるごがねばなという別名もありますが、俳句では主に山菜莢の花が用いられています。

秋になると長円形の艶のある真っ赤な実が鈴なりに結実します。約二センチ程の実には甘酸っぱく、食用のほか漢方薬としても古くから珍重されてきました。

西暦一〇〇年頃、中国漢王朝時代に編纂された最古の薬学書『神農本草経』にも記載があり、二千年以上前から人びと

の間で薬として利用されていたことがうかがえます。

現在では、抗アレルギーや滋養強壮、鎮静作用、利尿作用などの薬効が期待され、漢方薬として処方されています。

枯色に山菜莢の黄の新しや

高木晴子

山菜莢は、鮮黄色せんおうしよくの丸い小さな花序を放射状に広げ、その先端に約二ミリ程の小花をつけます。満開になると樹木全体が金色の光を放って、春を祝福しているかのように見えます。

未だ寒さが残る二月。山菜莢の花に春の喜びと生きる力をいただきましょう。

あの頃を語る夕餉や栗ご飯

東京都 相澤 重廣

春めくや何を思案の六地藏

千葉県 石橋 渡

星々に耳を澄ませば冬の夜

東京都 小川 菜穂

飛び出すや擬態の色の青蛙

茨城県 小室 英朗

今日生きて人生余白師走くる

千葉県 竹田 政子

もみがらに息をひそめて熟柿かな

千葉県 宮内 友子

そこここに雀のこゑや日脚伸ぶ

千葉県 矢萩ゆたか

▶ハガキ1枚に5句まで、1人でハガキ2枚まで▶毎月20日締切▶印の特選者に記念品を贈呈▶選者は成田山貫首▶送り先は〒286-0023 成田市成田1 成田山智光編集室「俳壇」係

御護摩札

郵送のご案内

皆さまのお願い事は御護摩祈禱で祈願しています。お申し込みの方には御護摩札を授与いたします。御護摩札の郵送も承っておりますので、ご希望の方は下記にしたがってお申し込みください。

御護摩祈禱の願意

家内安全	航空安全
商売繁昌	学業成就
交通安全	合格成就
開運成就	大漁満足
心願成就	海上安全
事業繁栄	身体健全
厄難消除	健康長寿
災難消除	当病平愈
工事安全	必勝
工場安全	安産
方難消除	御礼
旅行安全	
併せ祈願（左記の願意のみ）	
家内安全	大漁満足
商売繁昌	海上安全

赤文字の願意の御護摩札は小型札です。ご希望により木札に変更いたします。

◆申し込み方法

左記事項をお知らせの上、御護摩初穂料を現金書留、またはページ添付の払込取扱票でご送金ください。

- ①御護摩祈禱の願意
- ②御護摩初穂料
- ③御護摩札に浄書するお名前
- ④住所・氏名（ふりがな）・電話番号
- ⑤「御護摩札郵送希望」と明記

◆御護摩初穂料

5000円、1万円、2万円、3万円以上（特別大護摩）

◆送料

木札500円、小型札300円

※御護摩初穂料の合計が1万5000円以上の場合には無料

◆申込み・問合せ

御護摩札郵送係まで

弘法大師ご誕生一二五〇年
記念事業ご志納のお願い

明年、弘法大師ご誕生千二百五十年を迎えるにあたり、諸堂の修復を進めてまいります。記念事業達成のため、ご信助を謹んでお願い申し上げます。

お申し込みは御護摩受付所、またはページ添付の払込取扱票をご利用ください。

□ 写経用紙を頒布 □

『般若心経』写経用紙（3枚入）を頒布しています。ページ添付の払込取扱票にある「写経」に丸をつけて郵便局からご送金、または公式ウェブサイト「写経セット申込フォーム」からお申し込みください。
初穂料 3000円（別途送料300円）

成田山だより『^{ちこう}智光』

2022年（令和4年）2月号

発行 大本山成田山新勝寺
住所 〒286-0023 成田市成田1
電話 0476(22)2111
FAX 0476(24)2210 / 信徒課 0476(23)1661

発行人 伊藤照節
編集 成田山智光編集室

成田山新勝寺公式ウェブサイト <https://www.naritasan.or.jp>
全国競書大会公式ウェブサイト <https://www.naritasan-kyosho.jp>

2月の成田山行事カレンダー

お不動さまの御縁日 ごえんにち 1日・15日・28日

毎日	御護摩祈祷	16ページ参照	大本堂	
	開運厄除御祓	20ページに厄年表	8時～15時30分	釈迦堂
	交通安全祈願	8時～16時 (土・日・祝は17時まで)	交通安全祈祷殿	
	お初まいり祝祷 (赤ちゃんの身体健全祈願)	8時30分～16時 (受付は15時まで)	大本堂	
	病気平癒と健康長寿の祈願	8時～15時30分	醫王殿	
	先祖供養 / 物故者供養 / 水子供養	11時30分・13時30分・ 15時30分	大師堂	
	信仰相談 (電話受付)	8時～16時		
3日(木)	成田山節分会	17ページ参照	大本堂	
	星供祈祷会 (～9日)	9時	光明堂	
12日(土)	第37回仏教文化講座 第6講	13時	大本堂第一講堂	
14日(月)	常楽会御逮夜	14時	釈迦堂	
15日(火)	常楽会 (釈尊涅槃会)	10時	釈迦堂	
19日(土)	成田の梅まつり (～3月6日) 期間中の土・日にイベント開催	19ページ参照	成田山公園	
21日(月)	出世開運稲荷祭礼 (～22日)	6時～18時 (22日は17時まで)	出世稲荷	
22日(火)	出世開運稲荷大法会	11時	出世稲荷	
27日(日)	氷彫刻展	9時30分～15時	大本堂周辺	

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、以下の行事を中止いたします

毎日	密教坐禅 (数息観)	受入中止
	写経	写経道場は利用中止 ご自宅で成田山写経用紙に写経して納経してください
	断食修行	受入中止

3月の主な成田山行事

5日(土)	十箇座十万遍修行 (～7日)	13日(日)	第38回全国読書大会 中央審査会
11日(金)	全国災害物故者総供養会	21日(祝)	彼岸会
12日(土)	第37回仏教文化講座 第7講	22日(火)	弘法大師正御影供

上記の法要・行事は変更・中止となる場合があります。電話でお問い合わせいただくか、公式ウェブサイトでご確認ください。皆さまには大変ご迷惑をおかけいたしますが、何卒ご理解のほどよろしくお願いいたします。

明日へのちから、
なごみの思い。

極上 栗羊羹



成田山表参道

綿 なごみの米屋

千葉県成田市上町500番地 〒286-0032

TEL. 0476-22-1211 (代)

FAX. 0476-22-1220

<http://www.nagomi-yoneya.co.jp/>